

あじさい

2022年
春夏号

40

YEARS

ANNIVERSARY

1982年10月 医療法人大医会設立



新任医師
特集号



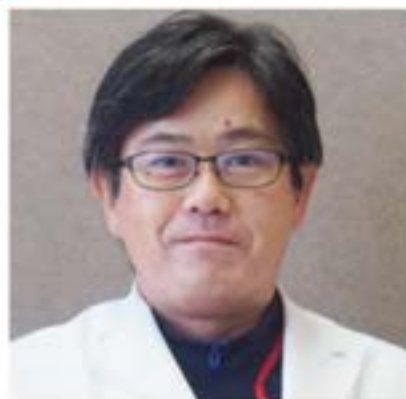
お願い 当施設を利用される場合は不織布マスクの着用にご協力をお願いします。

【 TOPICS 】

- ・ 地域医療における当院の役割
- ・ 内視鏡センターの取り組みと展望
- ・ 新任医師特集
- ・ 外来紹介：小児科・皮膚科・整形外科
- ・ コラム「夏に多い耳鼻咽喉科の疾患」

病棟 改装工事中





これからの地域医療における 当院の役割



医療法人大医会 設立40周年。
これからも地域とともに。

理事長 大島 亮

皆さんこんにちは。医療法人大医会理事長の大島と申します。さてコロナ禍も3年目となりました。新型コロナウイルス感染症に対しいろいろなことがわかり、またワクチン接種の効果もあり、はじめの頃とは対応も若干変わってきたとは思いますが、現在第6波がなかなか終息せず、愛知県も依然新規感染者数も多く不安な毎日が続いております。さらにロシアのウクライナ侵攻と近隣国で起こっている事態にさらに不安が募るばかりです。

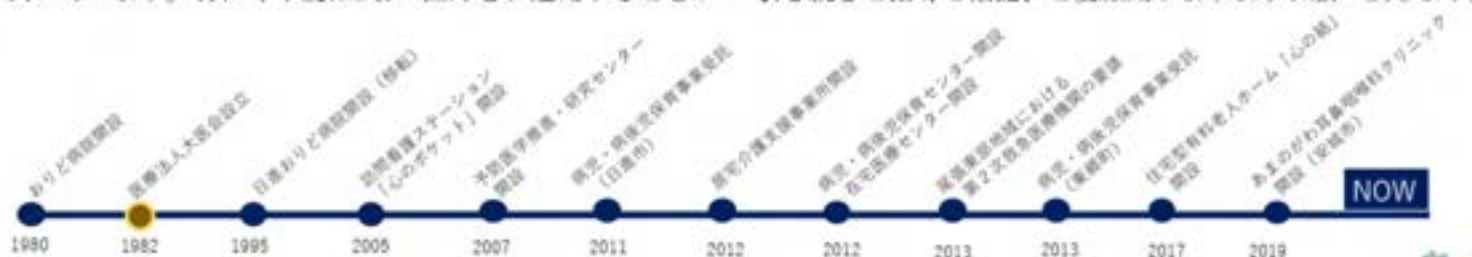
院内の感染対策については、各医療機関が各々で考え、工夫をし日々の診療に取り組んでいらっしゃると思いますが、我々も職員一同、最大限の意識と対応を持って取り組んでおります。救急医療の現場で起こっていることとしては、平時にはすぐに救急搬送できた患者様が病院に到着するまでの時間が余分にかかる現象がおこっています。当院は尾張東部医療圏における第2次救急医療機関として、「本来助かるべき患者様を助けられない」事が起こらない体制の構築をさらに整えていく必要があると考えております。また現在、報道では「重症化しない」株が流行しており、確かに軽症の患者様が多い状況です。しかしその反面、市中感染がまん延しており、当院でも発熱外来の患者様は著増しております。しかし、「軽症で終わるから大丈夫。基礎疾患が無いから大丈夫。」と思わないでください。1人の感染がご家族や大切な人を巻き込み、また医療現場のベッドだけでなく、働く人を削り、結果として病氣や怪我で来院される方の対応が出来ない場合が発生する可能性があります。“Withコロナ”の時代だからこそ、不織布マスクの着用や手指消毒など、基本的な感染対策を徹底して頂きますようご協力をお願い致します。

さて、新年度に入り、十数名の新しい職員を迎え新鮮な風が吹いています。特に今年度は2名の医師をお迎えすることが

できました。1名は外科の大見先生で、専門知識とオペ技術を生かした診療を、さらに地域医療を支えるための在宅医療にも注力して頂きます。もう1名は消化器内科の大久保先生で、そのご経験と専門性を生かした診療、また当院の内視鏡センターにて、地域の健康を守るお手伝いをさせて頂きます。お二人とも素晴らしいスキルとお人柄の持ち主です。大医会が地域の中核病院としてお役にたてるよう、新しい診療体制で職員一同さらなる努力を重ねて参ります。

おりど病院開設42年目、医療法人大医会設立40年目、日進市におりど病院を移転して27年目になります。事業の拡充に伴い、職員の数も当初より1.5倍ほどに増え、多職種で医療現場を支えて参りました。経年に伴い、照明などを含め全体的に老朽化しておりますが、建物・機材といったハード面の充実でも当法人をご利用頂いている皆様のご期待に応えられるよう頑張っております。近年ではトイレの改装工事や駐車場増設などを行いました。日々ご受診頂く中で、皆様に少しでも気持ちよくご利用頂くために、毎日の清掃や定期的なワックスかけを行い、施設の清潔・美化に取り組んでおります。また今回、大々的に専門業者によるエアコンの洗浄を実施し、照明のLED化を図っております。さらには病棟において、少しでも良い環境で過ごして頂けるよう2階・3階病棟の病室のリニューアル、水道から温水が出るようにする工事を行っております。騒音や新建材の匂い、また業者の出入りなどでご迷惑をお掛け致しますが、何卒ご理解の程宜しくお願い致します。

今後も、「わたしたちは、質の高い医療の提供を常に心掛け、地域住民から信頼され、社会に貢献できる医療施設を目指します。」という理念をかかげ、精一杯努力して参ります。引き続きご指導ご鞭撻、ご愛顧賜りますようお願い致します。



コロナワクチンへの取り組み



当院では日進市内の住民の皆様へ、医療機関などにお勧めの方、また老人ホームなどの施設にご入所中の方を対象としてコロナワクチンの接種を行って参りました。スタート時は接種までの準備期間が非常に短くタイトスケジュールであり、初めての事で手探りの状態でしたが、「感染しないように」「クラスターが発生しないように」、職員一丸となり取り組んできました。コロナワクチンの特性上、超低温冷凍庫での保管が必要ですが、

当院では薬剤師が厳重に薬剤を管理しております。現在も日曜日は大人の方、平日はお子様への接種を実施しております。アナフィラキシーショックが出た場合に備え、すぐに診察できる医療設備と人員体制を整えており、また副反応などによる症状にも対応しています。これからも地域の皆様の健康を守るために尽力して参ります。(※コロナワクチンのご予約はすべて日進市のワクチンコールセンターで承っております。)





内視鏡センター長
消化器内科部長

ふじた ひろし
藤田 浩史 医師



日本内科学会 認定内科医 総合内科 専門医/指導医
日本消化器病学会 専門医/指導医
日本消化器内視鏡学会 専門医/指導医
日本消化管学会胃腸科 専門医/指導医

胃・大腸がん予防および治療のために質の高い医療を

● **ピロリ菌除去と経過観察内視鏡の継続**
で地域の**胃がん**による死亡〇を目指します。

● **便潜血反応陽性者の継続内視鏡**
で地域の**大腸がん**による死亡〇を目指します。



1868年にドイツで初めて胃の内側をカメラで撮影する技術が報告されて以来、内視鏡の進歩は目覚ましい発展を遂げました¹⁾。1960年代にファイバースコープが開発され消化管悪性腫瘍の診断が広く普及し、癌の診断も早期発見から内視鏡治療の時代にシフト致しました。今回、胃癌、大腸癌になるリスクを低減する予防医学と日本が直面する超高齢化社会を背景とした内視鏡センターの取り組みと、今後の展望についてお話ししたいと思います。

2021年に胃癌の発生にピロリ菌感染が強くかかわっている事が報告され²⁾、さらにピロリ菌を除去することで発癌リスクを1/3以下に抑える事が可能なことも判明しました。これを受けて2013年には慢性胃炎に対するピロリ菌除去療法が保険適応になり、皆様のご協力のおかげで現在までに2,000名近い患者様の除菌を行う事ができました。慢性胃炎の患者様にはすでに癌がある可能性があるため「除菌前に胃カメラで癌が無いことを確認する事」が必須事項となり、内視鏡検査数の大幅な増加の必要性に直面致しました。その為、2014年に電子カルテ導入を機に病院と付帯する予防医学推進・研究センターの内視鏡室を連携することでセンター化し、検査件数の増加とOlympus社製の最新機種導入による検査の質の向上に努めて参りました。2020年10月には経鼻内視鏡の最新鋭機で侵襲が少なく、鼻からの内視鏡にもかかわらず口からの内視鏡と同等の画質を得ることが可能なGIF-1200Nを導入しさらなる質の向上に努めています。

また、大腸癌の多くが大腸ポリープを放置する事で発生するため、便潜血反応陽性者や有症状の方に大腸内視鏡を受けていただき、癌の発見・治療に加えポリープ切除による大腸癌の予防を積極的に行ってまいりました。大腸検査時には全例、空気の30倍以上吸収され易い二酸化炭素を使用し検査後の不快感の低減に努めています。腹部手術歴や婦人科疾患をお持ちの患者様には強い痛みが出ることもあり、ご希望さえあれば年齢による制限を設けずに鎮痛薬・鎮静剤を使用し内視鏡の苦痛を軽減する取り組みにも力を入れています。80歳以上の患者様では便秘症の方が増加し、検査時に残便のため検査が遂行できない方のお見えになります。80歳以上の方では原則1泊2日の入院をお勧めし、排便の乏しい方には洗腸を併用することで残便による検査の中止をほぼ解消する事が可能となりました。

2010年に「65歳以上の人口が21%を超える」超高齢化社会に突入し、2021年には30%と右上がり増加しています。実際、80歳以上の当院入院患者様の割合は、2014年度は40%でしたが2020年度には57%まで上昇し高齢者における内視鏡への取り組みの強化も必要になりました。後期高齢者では、嚥下機能の低下による誤嚥から誤嚥性肺炎へと進展するリスクが上昇します。

嚥下機能低下が疑われる患者様には嚥下内視鏡による評価と嚥下リハビリを行い誤嚥を予防する取り組みも行ってまいります。さらに嚥下リハビリにて改善の乏しい消化管が健常な患者様には胃瘻増設を積極的に行っています。2021年度はCOVID-19による入院制限等で見込みの減少はありますが超高齢化社会の世相を反映し増設件数は年々増加しています³⁾。

胃瘻増設件数



3) 図. 2015-2021年度 胃瘻増設件数



今後の展望

ピロリ菌除去後も未感染者に比べ胃癌リスクが3倍以上存在します。また、約1%程度で除菌後のピロリ菌の再感染も確認しています。1年に1回の除菌後内視鏡の必要性を啓蒙し、再感染者への再除菌による胃癌リスクの低減と、内視鏡治療で完結できる早期癌の発見に努めて参ります。2014年に3,161件だった内視鏡件数も2021年には6,583件まで増加を致しました⁴⁾。

しかし、その数は十分とはいえません。健診内視鏡検査の需要を満たすことができず健診とは別日に改めて内視鏡を受けて頂く方や、バリウム検査への振替えをせざるを得ないこともしばしばありました。内視鏡センターの理念である、地域の胃癌、大腸癌による死亡〇を目指し、数年以内に10,000件を超える内視鏡件数が可能となるように、早急な施設体制の強化を行ってまいります。2021年度は新型コロナウイルスに関連した入院制限に伴う胃瘻増設や高齢者の大腸内視鏡の待機がありました。今度もより一層、地域の医療機関様と密接で迅速な関係を構築し入院待機問題の改善に努めてまいります。

- 1) Gastroenterological Endoscopy, 20:319-329, 1978
- 2) N. Eng. J. Med. 345, 784-789, 2001



4) 図. 2014-2021年度 内視鏡件数 推移

外科 外科副部長 在宅医療センター おおみかん 大見 関 医師



●**外科分野**
これまでの経験を活かし、まず4月より腹腔鏡下鼠径ヘルニア手術を導入させて頂きました。

日進おりど病院はこの地域を支える役割をもつ基幹病院であると思います。地域の患者さんにより専門的な治療が必要であればその提案をするとともに、この地域においてもより大きな病院と同等の治療を提案することができれば多くの患者さんのためになると考えます。

●**腹腔鏡手術、がん治療の経験を生かして**
令和4年4月より日進おりど病院に入職致しました。大見関と申します。外科診療と在宅診療を担当させて頂きます。
自分は岡崎市で生まれ育ち、名古屋市立大学を卒業後に三重県いなべ市で臨床研修を行い、泌尿器科医師として働きました。その後、全身管理・治療をより深く学びたいと思い、全身を扱う外科学の道へ進みました。その後は経歴欄に記載したような大病院をはじめとする施設で研鑽を積んでまいりました。大きな病院には大きな設備があり、より専門的な治療を行うという役割があります。大病院では肝胆膵外科グループに所属し、膵癌の分子生物学的な基礎研究も行いつつ、外科手術、癌の化学療法、緩和治療など幅広く手掛けてきました。

【所属学会】
日本外科学会、日本消化器外科学会、
日本肝胆膵外科学会、日本腎臓学会、
日本腹部救急医学会、日本内視鏡外科学会、
日本臨床外科学会、
日本臨床栄養代謝学会、日本サウナ学会

【資格等】
外科専門医、消化器外科専門医、
消化器がん外科治療認定医
がん治療認定医、
手術支援ロボット da Vinci console surgeon
TNT (total nutrition therapy) 研修修了
緩和ケア講習会修了

【経歴】
平成20年3月 名古屋市立大学医学部卒業
平成20年4月 三重厚生連 いなべ総合病院臨床研修医
平成22年4月 三重厚生連 いなべ総合病院 泌尿器科
平成23年4月 名古屋市立大学病院 消化器外科 シニジデント
平成24年1月 名古屋市立東部医療センター 外科 シニジデント
平成25年4月 名古屋市立東部医療センター 外科医員
平成27年4月 名古屋共立病院 消化器外科医員
平成29年4月 名古屋共立病院 消化器外科副部長
平成30年4月 名古屋市立大学病院 消化器外科 臨床研究医
令和1年7月 名古屋市立大学病院 消化器外科 病院助教
令和3年4月 名古屋市立大学病院 消化器外科 助教
令和4年4月 日進おりど病院 外科 副部長、在宅医療センター勤務

●**訪問診療**
大病院に在籍中は自分が担当したがん患者さんが自宅で過ごしたいという希望を持たれた場合、その患者さんに対して訪問診療を行う事もしていました。在宅での緩和治療に

した。鼠径ヘルニアは広く脱腸と呼ばれ、足の付け根の筋肉が緩むことで腸が内側から鼠径部を圧迫し、膨らんでしまう病気です。手術以外に治療方法はありません。これまでは直接患部を切開して鼠径部の構造に手を加えて行っていた手術ですが、腹腔鏡下手術では、お腹に3か所の1〜2cmの穴をあけることで、お腹の内側から治療が可能となります。鼠径部の構造に手を付けられないこともあり、傷の痛みが小さくなり、術後の社会復帰も早くなりました。患者さんの状態にもよりますが、手術翌日には退院して日常生活を送ることもできる手術です。気になる症状があれば、いつでもご相談ください。

その他にも内科の先生たちとの連携を密にすることにより、消化管内視鏡（胃カメラや大腸カメラ）だけの治療が困難な患者さんに対して、腹腔鏡下手術を併用することで、より身体的負担がからない治療を提供することも積極的に行っていきます。

最後になりましたが自分の専門分野は消化器外科で、得意でない診療分野もあります。しかしチームの力で協力し、来院される患者さんに最適な医療を提供し、スタッフも含めて皆が笑顔になれるように努めて参りますので何卒よろしくお願ひ申し上げます。

も携わり、最初から最期まで関わることや自宅で過ごすことの良さも学ぶことができたと考えています。また、通院が困難な高齢者の方のご自宅や施設に伺うこともしていました。この日進おりど病院は、在宅医療センターと有床病院という2つの設備を持つ施設です。自分がこの2つの組織に在籍することで、各々の機運としてシームレスな診療が提供できるものと考えています。その他にも近隣の急性期病院での治療を終えて退院された後に、この地域の患者様が安心して自分の地元で、自分らしく過ごせるようにサポートして参ります。「こんな病状・状態でも自宅で過ごせるの？」と思われるときでも、希望があれば極力サポートをしていきたいと思っております。何かあればまずはご相談ください。



内科 内視鏡センター
副センター長

おおくほ まさあき
大久保 正明 医師



出身は九州の宮崎県ですが、大学入学を機に愛知県に来ました。愛知県に来てから居心地がよくなったのが気づいたら20年以上も月日が経っており、最近では愛知県での生活が長くなってきています。

大学時代は競技スキー部に所属し、クロスカントリースキーをメインにやっていたことから、体力には少し自信があります。筋力トレーニングも趣味でやっていたのですが、コロナ禍ということもあり、最近はやや運動不足気味で私自身も生活習慣改善を図り、地域のみなさんと一緒に健康な生活を心がけていけるように頑張りたいと思っています。

令和4年4月より日進おりど病院の内科で勤務させて頂く事になりました。大久保正明と申します。私は藤田保健衛生大学(現藤田医科大学)を卒業後、同大学病院で臨床研修を終了後、消化器内科へ入局しました。

大学病院時代は消化管疾患の検査・診断・治療を主に行っており、中でも早期癌に対する内視鏡治療(ESD)を積極的に行ってきました。食道癌、胃癌、大腸癌などの内視鏡で見られる癌はリンパ節転移の可能性がほとんどない早期の状態であれば、内視鏡的切除によって外科手術と同等の治療が可能です。

内視鏡的切除は臓器を温存する事でがん切除後のQOL(生活の質)が期待でき、体に侵襲の少ない治療として1980年代よりEMRが行われてきました。

そして近年、医療技術の進歩によってESDが開発されました。これまで大きなサイズの癌や難しい部位に発生した癌は早期の状態であっても従来のEMRでは切除できず、やむなく外科的手術を必要としていました。これらの癌もESDによって切除できるというケースが多くなりました。

さらに最初から外科的切除をすべきか迷うような場合は、まず体に負担の少ないESDによって、病変を切除し、切除後の評価によってあらためて外科切除をすべきかを判断する(診断的切除)という選択もできるようになってきています。ESDは治療であると同時に精度の高い検査でもあります。また、超高齢化社会を迎え、癌だけでなく、さまざまな病気を抱えている患者さんにとっても、診断的切除、あるいは100%完全な治療が選択できない場合の補助的治療としてもESDは非常に有用な選択肢とされます。

ただ、癌は早期の状態ではほとんど自覚症状がない事が多く、症状が出てからでは癌が進展してしまい、内視鏡治療の適応からはずれてしまうことがあります。

そのため、癌は早期発見することが重要です。内視鏡検査は苦痛の伴う検査で、数層が高いと考えている方が多いと思われませんが、当院では苦痛の少ない経鼻内視鏡や鎮静剤・鎮痛剤使用での検査も行っており、気軽に相談してもらい、よりたくさんの方に内視鏡検査を受けて頂ければと思っています。

治療に際しても可能な限り対応していきたいと考えており、「日進市周辺での内視鏡検査であればおりど病院で大丈夫」と言ってもらえるように日々頑張っていく所存です。また開院前にダイアモンド・プリンセス号の乗客・乗員受け入れで有名になった藤田医科大学岡崎医療センターでは、私も開院当初より立ち上げに携わり、地域医療にも貢献してきました。西三河地区は医療施設が十分でないこともあり、地域医療との関りも深く、このコロナ禍においてかかりつけ医の重要性も再認識することができました。

今回、ご縁もあり、日進おりど病院で勤務できることを大変嬉しく思っております。一般内科医としてはまだまだ至らない所も多々あるかと思いますが、今後も勉強を積み、これまでの経験も生かして、内視鏡検査・治療のみならず、生活習慣病も含めた地域に根差した医療が提供できればと思っています。他科の先生方や看護師、多職種の方々と連携し、患者さんやその家族に寄り添いつつ誠心誠意職務に取り組んでいく所存ですのでどうぞよろしくお願い致します。

【所属学会】
日本内科学会
日本消化器病学会
日本消化器内視鏡学会

【資格等】
医学博士
日本内科学会 認定内科医
日本消化器病学会 専門医
日本消化器内視鏡学会 専門医・指導医

【経歴】
平成17年3月 藤田保健衛生大学 医学部卒業
平成17年4月～平成19年3月 藤田保健衛生大学病院 臨床研修医
平成19年4月 藤田保健衛生大学 消化器内科入局
平成19年4月 藤田保健衛生大学大学院 医学研究科入学
平成23年3月 藤田保健衛生大学大学院 医学研究科卒業
平成23年4月 藤田保健衛生大学病院 消化管内科 助教
令和2年4月 藤田医科大学 岡崎医療センター 消化器内科 講師
令和4年4月 日進おりど病院 内視鏡センター副センター長 内科 勤務



アレルギー外来
小児科

小児科部長



さかもと たつお
坂本 龍雄 医師

小児科部長として日進おりど病院に着任して早いもので1年余が経過しました。短い期間ですが、病気を克服するなかでたくましく成長する子どもたちと触れ合うことができ、小児医療に携わる喜びを感じています。引き続き質の高い小児医療を提供できるよう、小児科スタッフ一同、力をあわせて頑張る所存です。



学童期や思春期の子どもを
コロナ禍のストレスから守る

腹痛・頭痛・倦怠感・食欲低下などの体調不良を訴えて受診する学童期や思春期のお子様が増えています。長引くコロナ禍が作り出すストレス環境が影響していると思われます。私たちはお子様の訴えを丁寧に聞き取り、保護者の方にも寄り添いつつ、お子様が一刻も早く心身の健やかな成長を取り戻す事を願いながら診察を行っています。



新型コロナウイルスから
子どもの健康を守る

- 発熱外来を別棟に設け、PCR検査を駆使して、新型コロナウイルス感染症(以下 COVID-19)の迅速な診断に努めています。昨今のCOVID-19の流行状況を踏まえ、20分以内に診断できる検査体制の恩恵は極めて大きいです。
- 病院をあげて感染予防に努めています。待合室で発熱者と隣り合わせになることはありません。
- 5歳以上のお子様のコロナワクチンを平日16時半以降に予約制で実施しています。火曜日の午後は他のワクチン接種を行っていますのでぜひこちらもご利用ください。



【専門分野/社会貢献】

- ・日本アレルギー学会
- ・日本小児科学会
- ・日本小児アレルギー学会
- ・欧州アレルギー臨床免疫学会
- ・認定NPO法人アレルギー支援ネットワーク理事長
- ・愛知県アレルギー疾患医療連絡協議会委員



近隣の小児の専門医療機関
との連携強化

子どもの神経疾患や感染症などの専門医に外来診療を手伝ってもらっています。高度な検査や治療が必要な場合には、小児医療の専門機関へのご紹介を行っています。



アレルギー専門外来で新しい予防と対策を

小さいお子様から大人の方までアレルギー疾患に関するお悩みをご相談下さい。

◆診察日時：木曜日 AM9:00-11:45 PM 15:00-17:45 【完全予約制 ☎ 080-4177-7551】

大人への食物アレルギーの診断・治療 食物経口負荷試験の積極的な実施

大人の食物アレルギーが急増しています。花粉症に合併する食物アレルギー、運動誘発アナフィラキシーを引き起こす食物アレルギー、アニサキスによるアナフィラキシーなどとても多彩です。専門性を駆使して的確に診断し、アナフィラキシー予防に努め

食物アレルギーがあっても、日常の食事における完全除去食は避けたいものです。食物経口負荷試験で安全摂取可能量を決めて、徐々に摂取量を増やすことができます。血液検査にだけ頼るのではなく、食物経口負荷試

予防する観点からの離乳支援

生後5カ月頃から多様な食物を積極的に食べていくことが、その後のアレルギーの発症予防に繋がると考えられています。皮膚テストで食物アレルギーがない事を

喘息や喘息疑いへの丁寧な診断と治療

乳幼児はしばしば咳や喘鳴を反復するため、すぐに喘息が疑われてしまいます。喘息の疑いはすぐに晴れませんが、丁寧に経過観察を行い喘息の有無を慎重に判断します。一方、喘息であることが判明すれば、

皮膚科部長



あいやま あきてる
相山 明輝 医師

当院では総合病院の特色を生かし、必要な時は血液検査や皮膚生検、画像検査を行って皮膚科疾患の治療にあたります。



アトピー性皮膚炎の原因

アトピー性皮膚炎の原因についてはまだ明らかではありませんが、皮膚のバリア機能が低下する体質や、アレルギーを起こしやすいアトピー素因が原因のひとつとして考えられています。

アトピー性皮膚炎の治療

治療の基本は、皮膚のバリア機能を補う治療(保湿)と、炎症を抑える治療(抗炎症療法)です。患者様の症状や程度、ライフスタイルに応じて適切な治療を組み合わせます。

アトピー性皮膚炎の治療目標

夜、ぐっすり眠る

仕事や学業に集中する

ファッションを楽しむ

対人関係で積極的になる

あなたの治療目標は何ですか?

【資格/専門分野】

- ・日本皮膚科学会
- ・日本アレルギー学会
- ・日本美容皮膚科学会
- ・日本皮膚科学会 専門医

デュピクセント 2018年に承認されたアトピー性皮膚炎の注射薬です。投与には各種条件と、医師の判断が必要となります。

【使用条件】

- 15歳以上の方。
- 外用治療も併用できる方。
- 既存の治療で効果が不十分な中等症～重症の患者様。
- 多額な費用負担ができる方。
※医療費助成制度を利用すると自己負担を抑える事が可能。



MEMO

患者様の経済的負担を軽減するため、医療費の助成制度があります。収入にもよりますが、1年間に支払った医療費の総額により還付金を受け取れる**医療費控除**や、1カ月の間に医療期間の窓口で支払った額が、一定の金額を超えた場合に払い戻される**高額療養費制度**の活用をご検討ください。



図> デュピクセントの働きと考えられる治療効果

※在宅自己注射が可能の方は、約3カ月分の注射をまとめて処方することもできます。その際は、処方した月のみ薬剤費の負担が生じます。



レーザー治療



先天的なあざは保険適用内で治療ができます!

太田母斑・扁平母斑・異所性蒙古斑など、保険適用内で疾患を治療することができます。小さなお子様から対応する事ができますので、気になる方は**皮膚科**にご相談ください。後天性なシミやあざ、表在性色素斑(そばかす)でも、保険適用外にて幅広い年齢層の方にご利用頂いております。

- ✓ 陥入爪、鶏眼(うおのめ)、アレルギーテスト、AGA(男性型脱毛症)、円形脱毛症、足白癬(みずむし)

・・・などもご相談ください



複数名の整形外科医が専門性を持った診察を行って治療にあたっております。

整形外科

整形外科顧問

やまだ はるもと
山田 治基 医師



【資格/専門分野】
 ・日本整形外科学会 専門医
 ・日本リウマチ学会 認定医
 ※藤田保健衛生大学
 (現 藤田医科大学) 前教授

専門領域

股関節・関節リウマチ



整形外科部長

にしもと さとし
西本 聡 医師



【資格/専門分野】
 ・日本専門医機構認定整形外科 専門医
 ・日本整形外科学会 認定医
 脊椎脊髄病医
 リウマチ医
 スポーツ医
 運動器リハビリテーション医
 ・日本医師会認定産業医
 ・医学博士

専門領域

脊椎外科・関節外科
 骨粗しょう症、
 リウマチ性疾患



その他、膝関節、脊髄・脊椎疾患に特化した非常勤の医師も配置しています。



DEXA法を用いた骨粗しょう症の診断

当院では要介護・寝たきりなどの要因である骨粗しょう症の診断と治療に取り組んでいます。

骨密度検査とは

当院ではGE製PRODIGYを使用し、DEXA(デキサ)法で骨密度の測定を行っています。

DEXA法は、骨密度測定の標準的な方法で、従来のX線を使用する方法に比べ、測定精度が高く、測定時間が短い検査方法です。



骨粗しょう症 危険度チェック

以下のリストにひとつでも当てはまる項目があれば、**内科・外科・整形外科の主治医**にご相談ください。

- ☑ 65歳以上の女性・70歳以上の男性
- ☑ 危険因子(※)を有する閉経後～閉経後周期の女性
- ☑ 危険因子(※)を有する50歳以上の男性
- ☑ これまで軽い衝撃で骨折をしたことがある
- ☑ 関節リウマチ・糖尿病にかかっている
- ☑ 背が縮んだ・背中が曲がってきた
- ☑ 慢性的に腰痛がある
- ☑ ステロイドを投与している
- ☑ 親族が股関節骨折・背骨の圧迫骨折をした



※危険因子: 飲酒・喫煙・やせすぎ・運動不足・カルシウム不足 など

骨密度測定結果

氏名: 西本 聡 ID: 800009902
 生年月日: 1947/03/02 誕生日: 2017/11/21
 性別: 男性 年齢: 70歳

全身骨量 (L2-L4) (BMD)

全身骨量 (全身) (BMD)

全大骨量 (全身) (BMD)

あなたの今回の測定結果(若年成人基準)

検査部位	性別	測定日	骨密度 (T値)	危険度
股関節の骨密度	男性	2017/11/27	97%	82%
腰椎の骨密度	男性	2017/11/21	112%	111%
全骨量の骨密度	男性			105%

※大骨量の低下は骨粗しょう症の診断、薬剤性骨粗しょう症などの診断により骨密度検査が異なる場合があります。骨粗しょう症でも骨粗しょう症の検査結果が異なりますので医師にご相談下さい。

【強い骨を作るには】
 食生活に注意 → 食事から十分なカルシウムとビタミンDを摂る豊富な食品を摂りましょう。
 運動習慣 → 成人に必要なカルシウムの量は一日約800mgです。
 適度な運動 → 適度な運動をすることで骨は強くなります。
 日光浴 → 日光にあたることでビタミンDが合成されます。1日に15分程度は日光にあたるようにしましょう。

次回の検査は 年 月頃です

日蓮おりと病院

院長 **野々田 岳夫** 医師



【資格・認定】

- ・日本耳鼻咽喉科学会認定専門医
- ・日本めまい平衡医学会相談医

【所属】

- ・日本耳鼻咽喉科・頭頸部外科学会
- ・日本鼻科学会
- ・日本耳科学会
- ・日本めまい平衡医学会
- ・短期手術研究会
- ・日本耳鼻咽喉科学会



夏に多い耳鼻咽喉科の疾患

夏になると、耳が痒い、耳が痛い、耳漏がでてくるなどの症状で受診される患者さんが多くなります。この原因として外耳炎が多いです。外耳炎とは、耳掃除をする外耳という鼓膜より外側の部分に炎症を起こした状態を言います。原因は、耳の穴からばい菌が入る事はほとんどないため、耳掃除などで人為的に外耳を傷つけてしまうことがほとんどです。

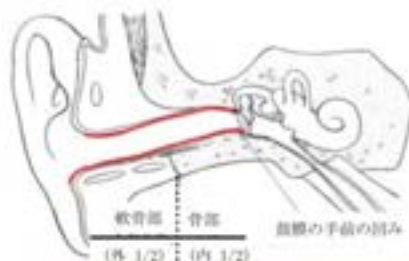
外耳の構造は、入口は、柔らかく毛(耳毛)が生えており、耳毛の根からは皮脂腺があり、ここからの分泌物は、汗(耳垢腺からの分泌物)などの水分と混ざり、皮膚表面の保護作用、殺菌作用を持ちます。この外耳に炎症がおきる事が外耳炎です。

とくに夏のような高温多湿環境下では、外耳道内は、さらに高温多湿環境になり細菌が繁殖しやすいため、一旦傷つくとそこで細菌が繁殖して痛み、耳漏、かゆみなどの症状が出現します。



耳掃除は、通常外耳道入口部にしかない耳垢をとればよいのですが、盲目的に掃除することで、耳垢を奥に押し込んでしまう、外耳道を傷つけてしまうことがあります。一旦傷つくと、汗や風呂上がりの水などで、耳が痒い、つばった感じがおき、再度耳掃除して外耳を傷つけるといった悪循環に陥ります。

耳が痒い、ついつい耳掃除をしてしまう時は、一度外耳炎になっていないか、専門の耳鼻咽喉科で診察・治療をおすすめします。



当クリニックでは慢性中耳炎、アレルギー性鼻炎、鼻中隔彎曲症、慢性副鼻腔炎、好酸球性副鼻腔炎 などに対し、患者様に負担の少ない日帰り手術を実施しており、遠方からの患者様にもお越し頂いております。手術に関するご質問は、直接院長にメールで相談して頂く事もできます。

診療時間	月	火	水	木	金	土	日	祝
9:00~12:00	●	●	-	●	●	★	-	-
16:00~19:00	●	●	-	●	●	-	-	-

★：土曜午前は9:00~13:00

休診日：水曜・日曜・祝日

※日進おりど病院でも月・火・木曜日に非常勤医にて耳鼻咽喉科の診察を行っています。ホームページをご確認ください。



救急外来のご案内

日進おりど病院は尾張東部医療圏の二次救急医療機関です。24時間365日体制で救急外来を行っております。

救急外来を受診される方へ

- ◆受診前に代表電話にお電話ください
- ◆保険証をご持参ください
- ◆当院の診察券をお持ちの方はご持参ください
- ◆服薬中のお薬がある方は“おくすり手帳”をご持参ください
- ◆会計業務中止中はお預かり金をさせて頂き、後日会計します
- ◆救急外来では診断書の作成はできません
- ◆他の患者様の状態により、診察の順番が前後することがあります



夜間および休日でも、急な検査(採血・心電図・X線写真・CTなど)や入院が可能です。ただし夜間および休日は、年齢ならびに症状等によりお受け出来ない場合があります。



2022年夏 熱中症 ZERO へ



気象庁によると『今年の夏は猛暑になる可能性が高い!』と予測されています。
マスクを着用する場合は、強い負荷の作業や運動は避け、喉が乾いてなくてもこまめに水分補給をしましょう。体力のないお年寄りやお子様声をかけあい、熱中症を予防しましょう!

感染対策は
忘れずに!



屋外で
人と2m以上
(十分な距離)
離れている時

《 マスク着用時は 》

激しい運動は避けましょう

のどが潤いていなくても **こまめに水分補給をしましょう**

気温・湿度が高い時は 特に注意しましょう



マスクを寄贈して頂きました

この度、株式会社熊谷組様より、当院に1,800枚のマスクを寄贈して頂きました。心より御礼申し上げます。このような暖かいご支援は医療従事者にとって大変心強く、また励みになります。1日も早い事態の終息を願いながら、寄贈品につきましては、有効に活用させていただきます。

当施設をご利用頂く皆様におかれましては、引き続き感染症対策にご協力を頂きますようお願い申し上げます。



病児・病後児保育センター

感染対策を徹底して運営しています。ご利用の詳細はホームページへ。

- 全室個室
- 医師の定期回診
- "病院"と連携した体制
- 専従スタッフの配置



※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、新型コロナウイルス感染症と診断された(疑いのある)児童は利用できません。

病児・病後児保育センターでは、保護者の就労と子育ての両立を支援するため、疾病などの理由で保育を必要とする乳児・幼児 に対し、日進市・東郷町から受託してお子様をお預かりしています。

利用日時、料金

- 月～金曜日 午前8時30分～午後5時 2,500円
- 月～金曜日 午後8時30分～午後6時 3,500円
- 土曜日 午前8時30分～午後0時30分 2,000円

利用対象

1. 日進市/東郷町に在住の方
2. 生後6か月から小学3年生まで
3. 当面病状の急変がないが、病気の回復期に至ってない状態または、回復期の状態にあり、通園・通学が困難である
4. 保護者の勤務の都合等、やむを得ない理由により、家庭での育児が困難である



医師・看護師・保育スタッフが責任をもって、一緒に子育てをさせて頂くつもりで大切なお子様をお預かりします。

病児・病後児保育
ご利用者さまからのおたより

抽選の悪い子どもを初めて預ける時は不安でいっぱいでしたが、先生やスタッフの皆様によくお声がけて頂き、とても楽しく過ごせたようです。喘息で定期受診するきっかけにもなりました。病児保育は治療や預け先というだけでなく、働く親の強い味方でした。



日進おりど病院の 在宅訪問診療

訪問診療とは

持病を抱えながらの生活には定期的な通院・医学管理が欠かせません。しかし、中にはその通院自体が困難な方、負担の大きい方も多く見えます。訪問診療は、医師が定期的かつ計画的にご自宅を訪問し、診察・検査・処方を行います。

日進おりど病院だからこそ

① 思いやりのある 訪問診療


在宅医療の主役は患者様です。今ある生活環境下で患者様やご家族様の価値観やライフスタイルを尊重した思いやりのある治療に当たります。

② 常勤医師3名体制

今年度より新任の医師を迎え、24時間365日、常勤医3名の在宅医が患者様の往診にあっております。訪問診療のご利用者様のための受診や緊急入院にも備えています。

③ 実績と看取りへのサポート

当院では10年以上前より在宅医療へ積極的に取り組んでおります。今ではこの地域にお住いの約350名のご利用者様の訪問診療を担当させて頂いています。患者様やご家族のご希望でご自宅での看取りも可能です。

 だんだんと通院が大変になってきた・・・
自宅療養に不安がある・・・



日進おりど病院 在宅医療センター

訪問診療・訪問看護・訪問リハビリ・ケアプランの作成・
医療相談などご遠慮なくご相談ください。



「住み慣れたところで安心して生活を送って欲しい・・・」

在宅医療センターの想いです

お問合せ

在宅医療センター



在宅訪問診療
訪問看護ステーション 心のポケット
日進おりど病院 居宅介護支援事業所

tel 0561-73-7771 (担当: 安形)
tel 0561-73-7841
tel 0561-73-8666

コロナ下でも検診はこわくありません！

「密」の回避、検温や消毒などの感染対策をとっています。

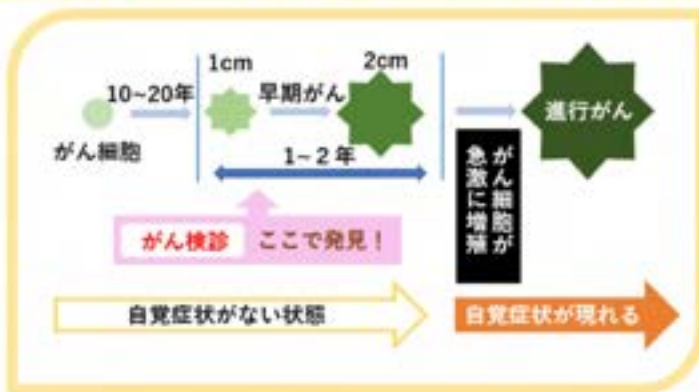
コロナ禍で健康診断受診率低下の警鐘



予防医学推進・研究センター
センター長 長岡 芳

新型コロナウイルスの感染拡大から3年目に入り、皆さまも行動制限を強いられ、日常生活を送っているかと思います。その中で、2022年4月4日に日本対がん協会が発表した記事によりますと、2021年にがん検診を受診した人は2020年より2割程度増加し、コロナ禍で健康診断の受診を控えられた方も2021年に大半は受診されたと言われているとあります。当センターにおいても同等なデータが確認できております。しかし2020年と2021年と続けて健康診断を受診されていない方も少なからずいるのが現状で、新型コロナウイルスの感染拡大が始まる前と比べると全国では1割程度受診率が低下しており受診者の減少数とがんの発見率から推測すると約600件のがんが見つけれなかった可能性があります。

健康診断では病気を早期発見し早期治療に繋げることが最も重要なことです。新型コロナウイルスとの共存に先の見えない状況ではありますが、是非とも年に一回の健康診断の受診をお勧めします。



早期発見のカギは定期検診。 検診は貴方の心も救います。

検診に行かなかった方は病気の発見のショックに加え、「検診を受けていたらもっと早期にみつかったかもしれない」という後悔を抱きがちです。ご家族もまた、「どうしてももっと強く検診を勧めなかったのだろう」と自分を責めたりします。貴重な機会をどうか逃さないで下さい。



30代さわやか健診のご案内

～ そろそろ健康診断を受けてみませんか? ～

期間

6月から11月末

対象

日進市在住
昭和58年4月1日から
平成4年12月31日生まれの方

料金

720円

申し込み方法

受診には受診券が必要です。

申し込み専用フォーム



内容

1. 問診
2. 身体測定 (身長・体重・BMI・腹囲)
3. 尿検査
4. 血圧測定
5. 血液検査 (血中脂質・肝機能・血糖・腎機能)
6. 診察
7. 貧血検査 (女性のみ)

子宮がん検診

も同時に受けられます

対象

日進市在住
20歳以上の
昭和奇数年生、平成偶数年生

料金

1,950円



生活習慣予防

には、若い頃からのチェックが必要です。ご自身の健康と生活習慣を振り返ってみましょう。



あじさい

日進おりど病院 広報紙 あじさい 発行責任者：渉外企画室
〒470-0115 日進市折戸町西田面110番地 ☎ 0561-73-7771(代)



編集後記

燕が飛来するこの季節、おりど川ではホテルが観察することができるのをご存じですか。夏になると外來の中庭でジージーと鳴く聲に元気づけられ、秋は香る金木犀の木の下で虫たちの音楽会が楽しめる豊かな環境を、皆さんにも楽しんで頂けると嬉しいです。

